

レコード 軽術

4.1

Vol. 31
Apr 2003

[今月のアーティスト] ジョン・イヌ

連載 でいすく ©古田秀和



平和の巣箱が危ない！



「鳥の歌基金」を設立しよう！

1971年のカザルスによる国連での「鳥の歌」の演奏を筆頭に各国チェリストによる「鳥の歌」の録音を集大成したCDが完成．売り上げは平和のために使います．



左翼危うし！

スペース・シャトルの事故で犠牲になった7人を追悼します。

七つのレクイエムセット緊急発売



伝統の響きを守る老舗
コロンビア・ソーシャル・サウンド



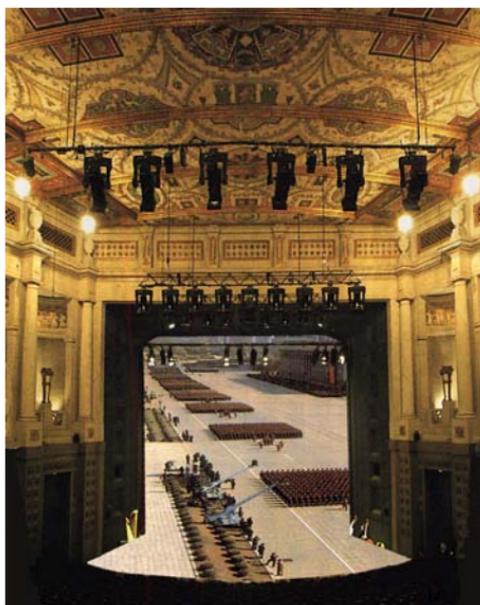
Artist of the Month

今回は来日中の話題の歌劇団「楽園」の設立者でチーフ・プロデューサーのジョン・イヌさんにインタビューすることができた。「楽園」は専属の歌手は持たず、演出を見せる団体である。プロデューサーが公演先の国にある優れた歌手やオーケストラを選びステージを仕上げる。

——型破りといえそうな大がかりな舞台装置が話題になっていますね。

イヌ 少ない機材と手間で最大の効果をねらうのがぼくらのやり方。以前はパレードとかマ스ゲームの裏方の仕事はずいぶんしましたからね、それが役立っているのかな。ああいうものは、前の日になって上の方の指示でがらっと変わることがある。その経験を生かしてどんな舞台にも即対応できます。

——装置もそうですが、女性の肌の露出度も結構あつて…



ヴェルディ『アイーダ』より凱旋の行進

この三人のコンビがステージを盛り立てる

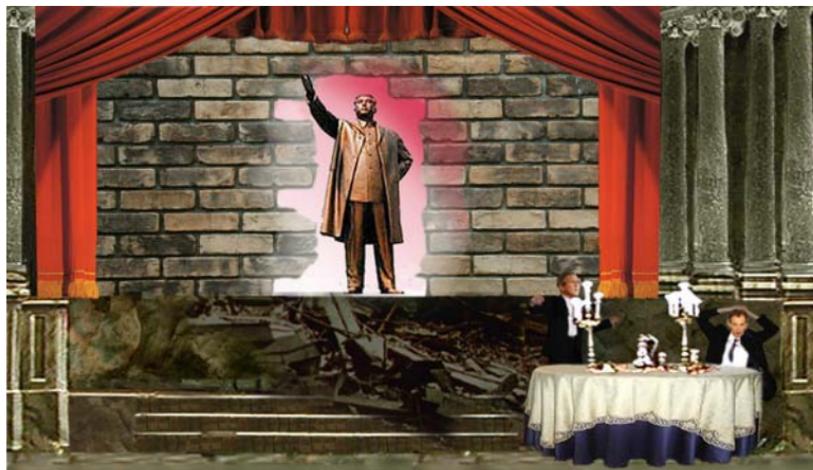


イヌ 男性客が喜ぶ場面があってもいいんじゃない？さりげなくちよつとだけ入れるんだよ。ぼくらはそれを「喜び場」と呼んでいるんだ。やりすぎは下品になるばかりか法に引つ掛かるから、いつも瀬戸際政策さ。

——戦争シーンとか、亡霊が出てくるところなど、現実離れしてはいるけれど本当に怖くできてますね。

イヌ そういつてもらえると嬉しいなあ。どこの国のTVニュースを見るときもそうだけれど、オペラ劇場という日常を離れた空間に入って異様なものを見て、ああ、こんな国に住んでなくてよかったと感じますね。そして劇場から出たときに、平和に感謝しようと思ってくればいい。そのとき「地上は楽園」となる。怖いものをじゃんじゃん見せることは世界平和に貢献しているの、これでも。

——イヌさんのほかに二人のプロデューサが



モーツァルトの歌劇『ドン・ジョバンニ』の終幕。
「悔い改めよ、悔い改めよ」と像が迫ってくる。

いて名コンビと評判ですが、「楽園」の設立の
きっかけは？

イヌ ぼくら三人は流れ者でね、一口で言え
ば亡命者。まず、ぼくと舞台装置担当のムダ
サが中東で知り合い、お互い映画のことで意
気投合したのが始まり。それからパキスタン
から来たビンが資金面を援助してくれるよう
になり、今の体制ができた。みんな自分の過
去のことはいわないけれど、独裁者の替え玉
をさせられたりして、苦勞してきたんだよ。

ひと通りインタビューを終えたあと、イヌ
さんの人なつこい笑顔に誘われてムダサさん
やビンさんにも会った。見かけはともかく、
人当たりのよい暖かい感じがする人たちだっ
た。政治の話にも詳しいのにはびっくり。あ
の人たちはもしかしたら？そんなことが脳裏
をかすめた。

[ていすく]
DISC Hidekazu Furuta

disc

a small optical disc on which music, data, or images are
digitally recorded for playback.

古田秀和



今月のテーマ 作品の構造的性

梅の花が満開といっても、桜の花にくらべたら地味なものだ。しかし、近づいてみると花の付き方にもいろいろあることがわかる。上を向いたり、下を向いたり、寄り添うようにまとまったり、集団としての華やかさでは桜にはおよばないけれど、ひとつひとつの花はもっと面白いといっていだらうか。そし

て、ほんのり漂う花の香り。なんととっても枝振りがいい。ある枝はまだ雪をいだいた山の稜線のように折れ曲がる。

ある枝は畦道のように左右に方角を変えながら空の一角に消えていく。画家は、山をバツクにした梅の枝と田園をバツクにした梅の枝とを描き分けるに違いない。同じ枝振りでも全体の中での役割が違う。画家の内面に燃え上がった感情があるときは枝の形に、あるときは遠くの山の稜線の形にと変化し、それらの組み合わせが再び変容を続け、一幅の画になっていくのだらう。

単純なものが最初にあり、その変形や展開で全体を構成する、いわば演繹的に構築された作品——芸術以外の世界に目を向ければ、

それは物理や数学で「理論」と呼ばれるものだが——はドイツ系の音楽によくみられる。中でもベートーヴェンの交響曲、それも三番の「エロイカ」以後の構成の精緻で壮大なことは革命的といつてよい。

いうまでもないことかもしれないが、動機の組み合わせやその展開とかを並べれば名曲ができるわけではない。芸術作品に実らせるには高い目標に向かつていく内面の燃え上がりがなくてはいけない。それなしにいかにも複



雑な曲を作っても何の価値もない。また、どれほど創作意欲があっても、音符を使つて表現する技量がないと何一つ実らない。

もう少しくだいていえば、手段はよくても目標が低くてはだめ。目標ばかり高くても手段を持たなければだめということになるだろうか。ベートーヴェンが「エロイカ」作曲中の頃、ナポレオンのとつた手段はすばらしかった——と少なくともベートーヴェンには思えた。しかし、皇帝となつたナポレオンがかかげた目標はベートーヴェンの期待していたものにおよばず、譜面の表紙からナポレオンの名は消えた。そして第九交響曲へ向かつてベートーヴェンはなおも一人で登り続けたのだ。

ハイテクを尽くした現代のオーケストラ、マスコミを動員した客集め。たどり着くのはどこか、冷静に聴き判断していききたい。

新譜
月評
April 2003
4.1

管弦楽曲 藤田由々
器楽曲 濱田滋養
オペラ 國土潤金
録音評 三井住友

4月号新譜月評

■R. シュトラウス《ドン・キホーテ》

小泉変一郎 (Vc)

青木末期雄指揮 永田町管弦楽団

■望郷のピアノデュオ

増元透 (p)

■モーツァルト歌劇《コシ・ファン・トゥッテ》

突破茂 坂井改憲 塩野谷空 皮口順子ほか

小泉変一郎指揮 永田町管弦楽団

(評外)

ガーシュイン《パリのアメリカ人》

ライス (p) クロク指揮パリ管弦楽団

新譜月評

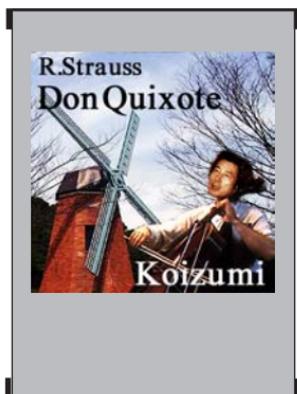
管弦楽曲

藤田由々

新譜月評 The Record Keijutsu 管弦楽曲

R・シュトラウス…《ドン・キホーテ》

小泉斐一郎 (vc) 青木末期雄 (va)
福田安男指揮 永田町交響楽団



現実と闘いながら空想の世界を突き進むドン・キホーテを演ずるのは久しぶりにチェロ奏者復帰の小泉斐一郎。主人ドン・キホーテの奇行を醒めた目で見つめる従者サンチョ・パンザは青木末期雄が弾くヴィオラで表されている。

ドン・キホーテは憧れの貴婦人を求めて旅に。序奏の部分は威勢がよい。大いなる幻影を胸に野心満々。しばらくすると目の前に風車の列が現れる(第一変奏)。ドン・キホーテはそれらを自分の行く手を阻む抵抗勢力と誤解、従者の取りなしも耳にせず突き進む。しかし闘いはあえなく敗れ、ドン・キホーテのつぶやきが残る。ここまでの小泉の演奏は活き活きとして表現の幅も

大きく楽しめる。

しかし、どうしたものか変奏を重ねるごとに生気が薄れていく。第六変奏は現実的な従者の策略にかかり、不器量な農家の娘を憧れるの人と思わせてしまう場面。からかわれるドン・キホーテ(第七変奏)。ここでのヴィオラのしたたかな動きにくらべチェロは投げやりにも感じる雑な表現だ。

第八・第九変奏は悪魔退治の場面。オーケストラとの掛け合いが重要だが、その場の雰囲気判断したような出方がよくない。「悪の枢軸」に向かうならば、それなりの熟慮が必要だろうにうまくせに過ぎないか。それでも第十変奏からエピソードにかけての表現は深い。小泉が幻想から目覚めた後に

これまで見せなかつた諦観の世界が開けたといえようか。

このような演奏になった原因としては、貴婦人への憧れを具体的に表現できなかつた小泉の実力不足が第一にあげられるが、サンチヨ・パンザ役の青木が対抗意識むき出しになったのがよくなかつたのではあるまいか。同じ音型を奏する仲間が管楽器にもいるが、出番は少ない。ヴィオラのトップに青木を据えたのはまずかつた。

全体にオケの協力姿勢が問われるなか、指揮の福田の役割は大きいが、どことなくクールで物足りない。有能な人だけに一層の統率力を求めたい。

「録音評」初めはこのオーケストラの録音にしては鮮明だが徐々に混濁する。アンサンブルの荒さも原因か。ソロ楽器のクローズアップが不自然。ミキサの意見の不一致があるのではないか。

新譜月評

器楽曲

濱田滋養

新譜月評 The Record Keijutsu 器楽曲

■望郷のピアノ・デュオ ブラームス・ハンガリア舞曲・ドヴォルザーク…スラブ舞曲 それぞれ抜粋

増元透 (p)



推薦 このCDに収録された曲はもともと二台のピアノのための曲であるが、この演奏は一人の奏者による多重録音によっている。ピアノリスト増元透について今さら解説するほどのこともないと思われるが簡単に紹介しておこう。

増元薫・透の姉弟は将来を期待されたピアノリストだった。共に東京の音楽大学に進学、卒業後には姉弟でデュオのコンサートを開きたいと思っていたほどの仲の良さだったという。その夢が暗転したのは七八年。姉の薫さんが帰省先の鹿児島島の海岸で行方不明になってしまう。

弟の透さんはTVの人捜し番組に出るな

どして消息をつかもうと必死になったが歳月は経つばかり。透さんはピアノリストとして独り立ちするが、かつて姉と誓ったデュオの演奏会のこと忘れられず、デュオの誘いはすべて断ってきたという。

ところが最近になって北朝鮮で生きているかもしれないという情報が流れ、姉を救おうといてもたつてもいられず製作したのがこのCDだという。その間二十数年。五里霧中の中決してあきらめず、各方面に呼びかけた結果が少しずつ現れてきたのだ。

選曲のせいもあるが、テンポの遅い部分の演奏が心を打つ。ウリ二つとまでいわ

れた姉の音を想い出しながら弾いているのだろうか。決して派手な表現ではないが、本質を突いたきらりとしたものがある。

生きているのか、いつ会えるのか、そのような焦りの気持ちが長年の間に昇華され、ここに実ったのだろう。叙情にあふれた名演である。

解説には自分の演奏がいつか姉の耳に届くと信じているという本人のメッセージが添えてある。横田照明氏による曲の解説は丁寧でわかりやすい。

CDの売り上げの一部は拉致関連の支援団体に寄付される。

「録音評」

同じ楽器の音の合成ながら収録時にマイクのセッティングを変え、二台のピアノが若干の距離感を伴って聞こえるように工夫されている。タッチのとらえ方も明瞭。ピアノリストが一人にもかかわらず演奏に二人分の効果を表そうとしているのがよくとらえられている。

新譜月評

オペラ

國土潤金

新譜月評 The Record Keijutsu オペラ

■モーツァルト…歌劇《コシ・ファン・トゥツテ（女はこうしたもの）》

フェルディナンド（突破茂）グリエルモ（坂井改憲）フォルディリージ（塩野谷空）ドラベラ（皮口順子）ほか
小泉愛一郎指揮 永田町交響楽団

Cosi fan tutte



女はこうしたもの

このオペラは、姉妹がどこまで貞節を貫けるかそれぞれの恋人である士官二人が共謀して芝居を打つもの。原作では士官たちが変装して別の人間になり彼女たちに近づき、どこまで誘惑されるか試すことになっている。芝居といえども、顔なじみの人間が演ずるのだから、いくら変装してもばれないはずはなく、この台本は現実離れしていることで評判がよくなかった。

このディスクでの演出は士官たちが出張先からなりすましメールを使って女心を揺さぶらすという設定になっている。現代になってメールという小道具を使うことになりリアリティが出てきた。それでも原作の骨子はそのまま生かされていると評価したい。

フェルディナンド（突破茂）はグリエルモ（坂井改憲）の恋人ドラベラ（皮口順子）の心を惹き付けようと防衛上の機密話を持ち出す。何度かやりとりを続けるうち、彼女の信念が変化し始め、言うことは支離滅裂に。オロオロと立ち往生してしまふあたりの心の揺れがよく出ている。突破はしたかというか、確信犯として堂々とした振る舞いで好演。

グリエルモの方も好演。フォルデイリージ（塩野谷空）は真面目なフェルディナンドについていくはずだったがグリエルモの言うなりになるにつれ徐々に色情と金にまみれていく様が真に迫っている。二人と

もはまり役だ。グリエルモ演ずる坂井は『パラの騎士』のオックスや『トスカ』のスカルピアでも好演しており、色男役を一手に引き受けている。引退の噂がささやかれているが続けてほしいものだ。

士官たちのゲームは本来の恋人がそれぞれの前に現れ、彼女たちも我に返って幕となる。セクハラものだと目くじらを立てるほどのことはあるまい。

全体はコミカルにあっさりとは仕上げられているが、小泉の指揮が舞台の騒ぎどころ吹く風というように反応が鈍いのが惜しい。故意に軽くやり過ぎそうとしたのかもしれない。

【録音評】 拡がりがありながら細部まで鮮明。歌声はリアリティに富むが後半へ進むと右寄りに集まるのはどうしたものか。ライヴ録音と記されていないが、会場ノイズが多い。私語というかヤジに近い声も聞こえるのは問題だ。

J Rグループ協賛・癒しのコンサート

ごらんなさい 寝ている人がいっぱい



もっとも寝ている人が多かった演奏会はどれ？

そのライブをCDにし、聴きに來られた方全員にプレゼント



そのCDを聴いて眠るような社員は運転手にはさせません

アメリカ・メジャー音楽業界で働らこう

奨学金クイズ・一番ヘタな演奏はどれ？



もっとも票が集まったCDに投票した方
の中から抽選で10名様に奨学金を提供

演奏一覧は投票券に書いてあります。仕事のジャンルは演奏家のほかステージ・マネージャ、運転手など何でも対応。

マツ イ

拙井音楽振興財団

超マニア
社寺靖國の
オーディオ
実体験
アブノーマル
ルポ
新懐古趣味とのつきあいかた

×月×日 夜一―時というのに、部長から電話がかかってきた。アンプの低音が今ひとつだ、コンデンサを変えたいが、どれくらいの容量のものにしたらいいかというもの。部長ときたら最近真空管式アンプに凝りはじめた。部長がいうには最近のアメリ力ではオーディオに「ネオ・ノスタルジズム」という、直訳すれば「新懐古主義」なるやり方があるやうなところだ、部長としてはそれを見越して何か新製品を作ろうと意気込んでいるのである。

明日から三連休という晩、そろそろ寝ようとしていたときの電話で女房は不機嫌顔。「明日宅配

便で送っておけばいいじゃないの」という。そうじゃないんだ、モノだけ渡すだけじゃだめ、汗水流さないといけないんだ、一二年前にも一万六千円の部品を送ったけれど、その後の感謝状に名前が載ってなかったじゃないか。せつかくの休みだけれど、行つて手伝つてきた方がいい。給料カットで苦しいのだからなおさらだ。さて明日は女房になんと理屈を付けて出かけようかなどと考えているうちに眠ってしまった。

×月×日 「会社の決議もないのにこつちが協力することないじゃないの」という言い張る女房を



出がけになんとか説得した。会議の決定より部長との仲の方が大切だ、同僚との協調体制がどうのといわれそうだが、表向きキレイなことをいっていてもみな下心を持って言っているのだ。あとで部長のイジメにあったらメシの食い上げだものな、抜け駆けといわれようが点数稼ぎのためにはひたすら我慢だ。半田づけを四個所やって帰る。部品代はともかく、交通費は「思いやり予算」ということで女房に出してもらおう。

×月×日 コンデンサを変えたおかげか、音は気に入ってもらえたようだ。量産試作機としてもう一台作ったので、お前のところでもロード・テストをやってほしいといわれる。



×月×日 珍しい形のアンプということで、このところ毎週お客が来る。「球のアンプを愛する会」「球のアンプを広める会」「球のアンプ保存会」など、いろいろな会があるものだとはじめて知った。

×月×日 今日は一瞬ヒヤリとした。いつもの見学者と思っていたが、ちよつと目を離れたスキに真空管を抜きにかかっている。その男は「球のアンプを想う会」の会員だそうで、言い分は「球のアンプは電気を食う」「現在生産されていないものを消費させるのは文化財破壊」である。そして、「球を本来の場所に戻すため」抜き取ろうとしたという。世の中いろいろな人がいるものだ。だからオーディオいじりはやめられない。

『ツブジの利く』音楽家になりましょう。



ヴァイオリンもヴィオラも自由自在。ピアノと指揮を兼ねるなど朝飯前。

有利だと思つた方へ即乗り換え。上司に恵まれないならすぐ飛び出そう。

転向準備のカリキュラム・転向後のアフターケア完備。上級コースには改名・蒸発の実務講座あり。

あなたの世渡りを支援する

熊谷ミュージック・スタッフサービス

オントモ燃処理から おしらせ

CDの原材料は石油です。増える一方の不要CDは環境問題に直結。このリサイクル事業は明日の人類の命運すら左右します。この大事業を遂行するに当たって諸外国との連携も欠かせず、多量消費国の米国政府からも役員を招いておりました。

しかし、イラク問題をはじめとする諸問題で以下の役員を招いたことは大変不適切であるばかりではなく、犯罪にも荷担するに等しいと判断、このほど解任することにいたしました。

人選にあたって不明がありましたことをお詫びします。



エヴァンス 商務長官
元・石油・ガス会社の会長兼CEO



エイブラハム エネルギー長官
反環境主義者・車の燃費改善反対



ライス 国家安全保障担当補佐官
元・オイルメジャー・シェヴェロンの取締役

CD引換券

不要なCD 5枚と本券でご希望の製品と交換します

オントモグループ **オントモ燃処理**株式会社

有効期限 2003.4.1

4月1日、おかげさまで創立30周年

「レコ軽」発祥の地「グレル」

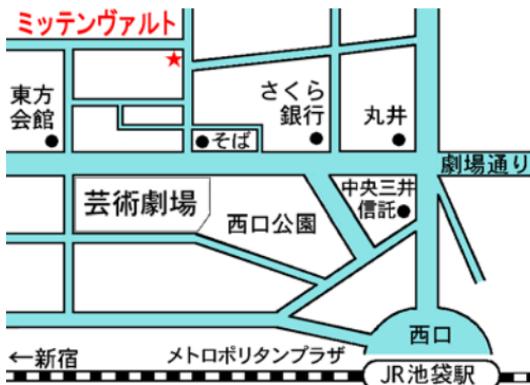


TEL 167-0054
杉並区公産3-37-24
(日曜休み)

今月のメニュー

エリック・サケイおつまみ集
から

アーモンド入りチョコレート
のワルツ / ナマコについて



<http://www.jah.ne.jp/violin>

バグダッドから美人ヴァイオリニスト・シェエラザードさんが来日

4月1日 11:00 西口公園にて
チャリティコンサート。警官
に注意されるまでやります。

CD高価買取

PM 0:00 ~ 9:00 年中無休

ミッテンヴァルト

MITTENWALD

静謐、月の光。音楽。

BAR

大鴉 《お、がらす》

バッハを聴きながらスコッチを、
モーツァルトに浸りながらワインを.....

喧噪を離れて、クラシック音楽を
ゆっくりお楽しみいただけます。

大阪市住吉区帝塚山中3-7-7 ミュースコート帝塚山 TEL06-6672-8777



- 難波より…南海高野線
「帝塚山」駅下車徒歩3分
- 天王寺より…阪堺上町線
「帝塚山3丁目」駅前

編集後記

いつも発行間際になるといろいろな事件が起こります。今度
はもちろんイラク戦争。戦争以外にもいろいろな案を温めてい
たのですが、それらを思い出すのに苦労しました。

戦争については、この号を何年かあとになって手に取り、
「ああバカなことをやったものだなあ」と思えるようになって
ほしいものです。

バックナンバーのハイライト、制作時の裏話などを
<http://www3.ocv.ne.jp/~yanagawa>で見ることができます。

レコード軽術 '03年4月号（通巻第31号）

2003.4.1 第1刷発行

編集発行人 柳川誠介

〒195-0054 町田市三輪町539-119

TEL&FAX (044) 989-8510

yanagawa@m2.ocv.ne.jp

PDF01426@nifty.ne.jp

印刷・製本 家内工業

hiroko-y@m2.ocv.ne.jp

